

# 水産加工食品製造業技能実習評価試験

## 専門級試験【マークシート】

☆ ペーパーテスト形式（マークシート）のため鉛筆と消しゴム等筆記用具が必要です

### 注意事項

- ① 試験は合図があったら始める
- ② 終了の合図があったら試験をやめて指示に従う
- ③ 不正行為は禁止する（カンニング、私語、問題や解答の書き写し・持ち出し等）
- ④ 机の上には、鉛筆と消しゴム、受検票以外置かない
- ⑤ 携帯電話等の使用を禁止する（撮影・録音等）

必要器具	数量	備考
筆記用具	各自	HB又はBの鉛筆、消しゴム

### 【受検番号】マークシート受検番号と名前の書き方

じゅけんばんごう									
2	-	2	3	-	0	1	3	5	7
○		○	○		●	○	○	○	○
○		○	○		○	●	○	○	○
●		●	○		○	○	○	○	○
○		○	●		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○

☆ マークシート解答用紙のおもて面に  
受検番号と名前を書きます

なまえ
HANAKO AYUKAWA

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょうぎのうじっしゅうひょうかしけん  
水産加工食品製造業技能実習評価試験

せんもんきゅうがっかしけん  
専門級学科試験

がっかしけん (ペーパーテスト) マークシート  
【学科試験 (ペーパーテスト)】マークシート



しゅつだいほうほう こた かた  
出題方法と答え方

- ☆ 学科試験は受検希望者のみ対象です
- ☆ マークシート解答用紙のおもて面 (魚マーク面) に答えを書きます
- ☆ 試験時間は **60分間** で原則として 30分経過後途中退席ができます
- ☆ 以下の例題は答え方の解説であり実際の出題数とは異なります  
実際の出題数は 30問です

こた かた  
答え方

もんだいぶん ないよう ただ  
問題文の内容が正しいものは  
かいとうようし まちが  
解答用紙の ⊙ を、間違いは ⊗ を  
ぬ  
塗りつぶしなさい。

ぬ かた れい  
【塗り方の例】

よ 良い	
わる 悪い	

きょうつうもんだい  
**共通問題**

1	<small>のり</small> 海苔 は、 <small>かいそう</small> 海藻 である。
---	---

2	<small>ほたてがい</small> ホタテガイ は、 <small>かいそう</small> 海藻 である。
---	---

がっかしけん

きょうつうもんだい

かいとうらん	ただしい ○	まちがい ×
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょうぎのうじっしゅうひょうかしけん  
水産加工食品製造業技能実習評価試験

せんもんきゅうじつぎしけん  
専門級実技試験

はんだんとうしけん (ペーパーテスト) マークシート  
【判断等試験 (ペーパーテスト)】マークシート

しゅつだいほうほう こた かた  
出題方法と答え方

- ☆ マークシート解答用紙のうら面に答えを書きます
- ☆ ペーパーテスト (マークシート) 形式のため鉛筆と消しゴム等筆記用具が必要です
- ☆ 試験時間は **15分間** で原則として途中退席はできません
- ☆ 以下の例題は答え方の解説であり実際の出題数とは異なります  
実際の出題数は各問題の説明内容の通りです

ちゅういじこう  
注意事項

- ① 試験は合図があったら始める
- ② 終了の合図があったら試験をやめて指示に従う
- ③ 不正行為は禁止する (カンニング、私語、問題や解答の書き写し・持ち出し等)
- ④ 机の上には、鉛筆と消しゴム、受検票以外置かない
- ⑤ 携帯電話等の使用を禁止する (撮影・録音等)

ひつようきぐ 必要器具	すうりょう 数量	びこう 備考
ひつきようぐ 筆記用具	かくじ 各自	また HB又はBの鉛筆、消しゴム

# 1. 共通問題

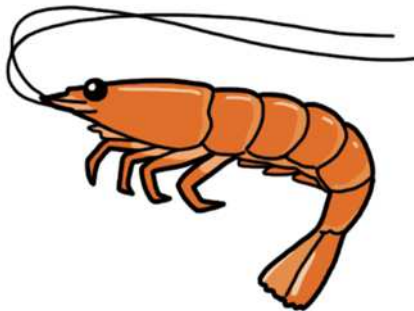
## 問題 I . 原料魚介類の選定

7種類 A ~ G の原料魚介類の名前を番号 ① ~ ⑦ から選び解答する

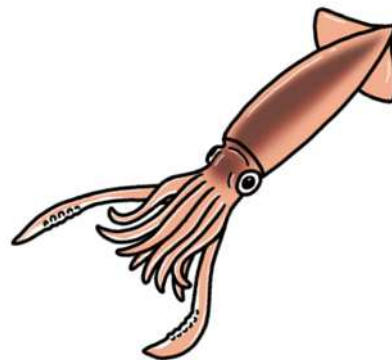
【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は7種類です。

原料魚介類 A ~ B の名前を ① ~ ② から選び塗りつぶしなさい。

A



B



① い か

② え び

もんだい I Mondai I							
A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

もんだい ほうちょう せんてい  
**問題Ⅱ. 包丁の選定**

3種類 (A~C) の包丁がどの原料 (①~③) に使用するか番号を選び解答する

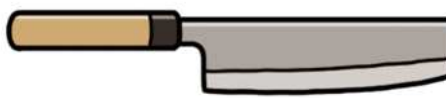
【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は3種類です。

包丁 A ~ B を 使う 原料 を ① ~ ② から 選び 塗りつぶしなさい。

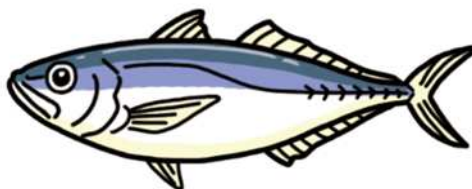
**A**



**B**



①



②

もんだいⅡ Mondai II			
A	①	●	③
B	●	②	③

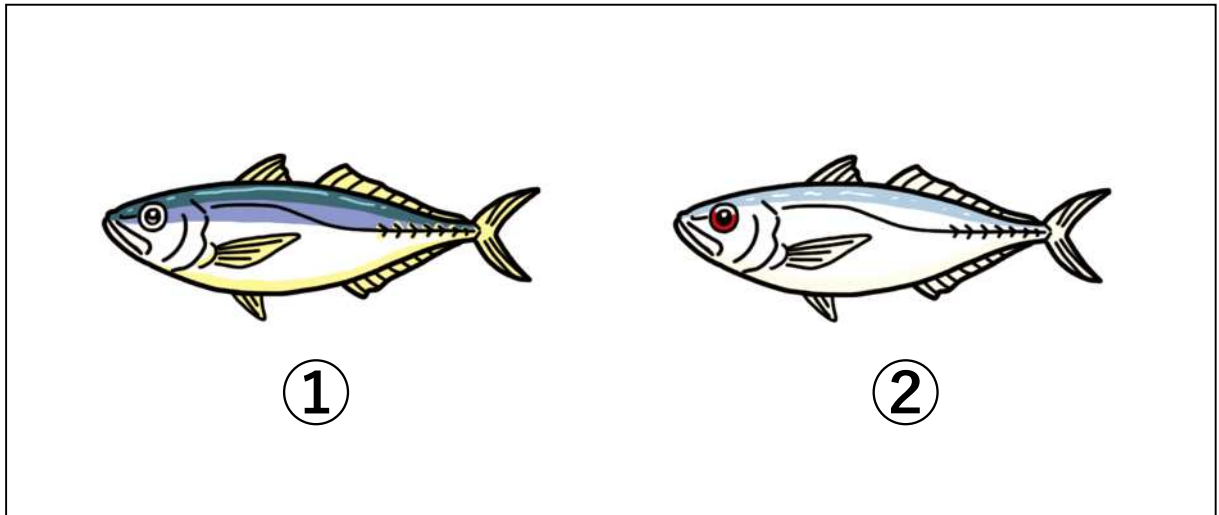
もんだい せんど ほんべつ  
問題Ⅲ. 鮮度の判別

さかな しゃしん み せんど よ ほう わる ほう ばんごう えら かいどう ぎょしゅしゅつだい  
魚の写真を見て、鮮度の良い方、または悪い方の番号を選び解答する（2魚種出題）

れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
【例題】 注）例題は1種類ですが試験は2種類（A・B）です。

せんど よ ほう を ① ・ ② から えら ぬ  
鮮度の良い方を①・②から選び塗りつぶしなさい。

A



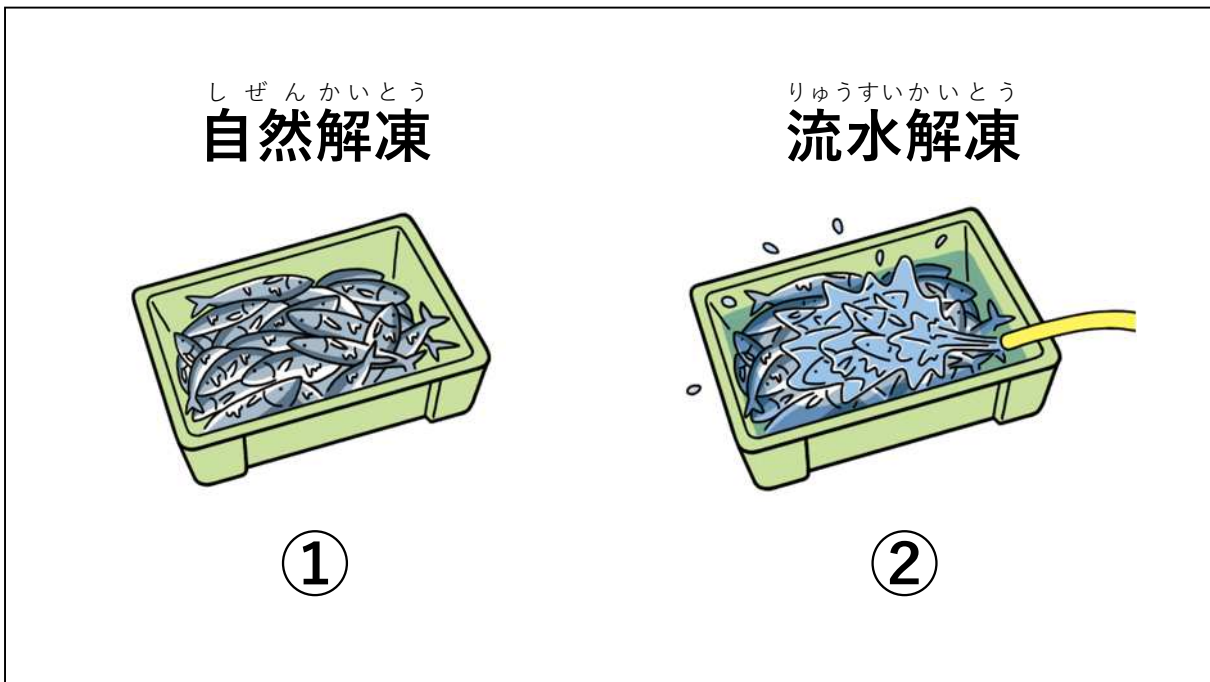
もんだいⅢ Mondai III	
A	②

もんだい げんりょうかいとうほうほう せんたく  
問題IV. 原料解凍方法の選択

しゅるい かいとうほうほう かいとうじかん はや ほうほう おそ ほうほう ばんごう えら かいとう  
3種類の解凍方法から解凍時間の早い方法、または遅い方法の番号を選び解答する

れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は3種類です。

いちばん はや かいとう できる ほうほう を かいとうほうほう ① ~ ② から えら ぬ  
一番早く解凍できる方法を選択方法①～②から選び塗りつぶしなさい。





もんだい あんぜんかんり  
**問題V. 安全管理**

事故を起こしている人物の絵を見て水産加工場内のどの人物がその事故を起こすか番号  
 を選び解答する（2問出題）

**【例題】** 注）例題は事故1種類ですが試験は2種類です。

事故Aを起こす人物を下の絵の人物①～③から選び塗りつぶしなさい。



もんだいV  
 Mondai V

A	①	③
---	---	---

## 2. 専門問題

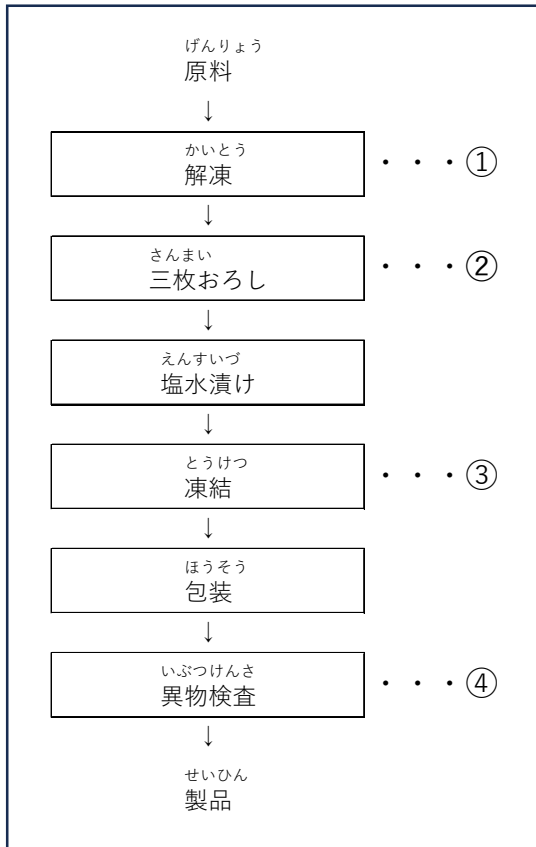
☆ 専門問題は作業別に問題が異なります

### 問題VI. 機器の選択

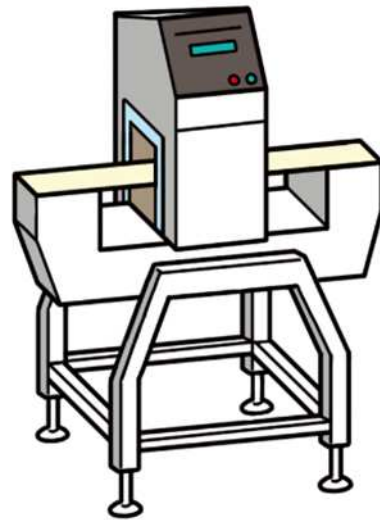
機器の写真を見て、製造工程表のどの作業で使われるか番号を選び解答する

#### 【例題】

左下は塩さばフィレの製造工程表です。右下の加工機器はどの工程で使いますか。①～④から選び塗りつぶしなさい。



きんぞくたんちき  
金属探知機



もんだいIV  
Mondai IV

① ② ③

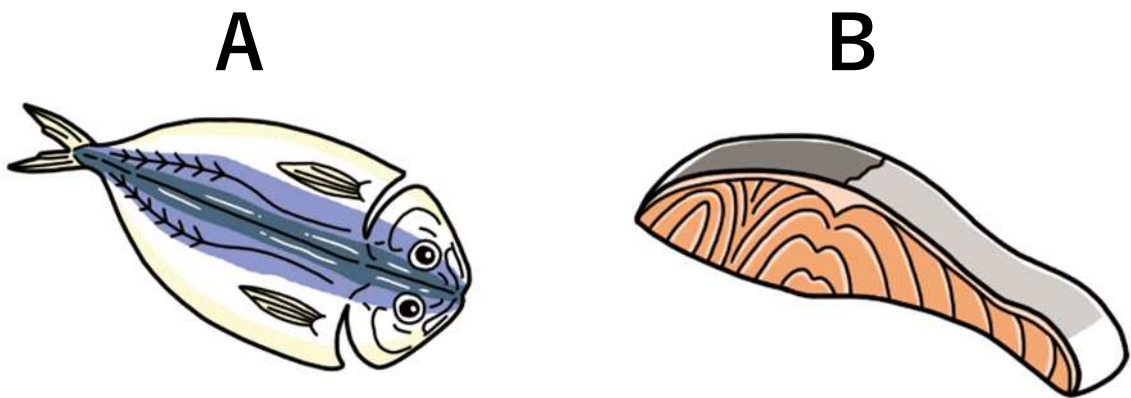


もんだい せいひん はんべつ  
**問題Ⅶ. 製品の判別**

しゅるい (A～C) の せいひん なまえ ばんごう (①～③) を 選び 解答する

れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
**【例題】 注）例題は2種類ですが試験は3種類です。**

せいひん なまえ を ①～② から 選び 塗りつぶしなさい。



① しお 塩さけ

② ひら ぼ あじ開き干し

もんだいⅦ Mondai VII			
A	①	●	③
B	●	②	③

# せいさくとうさぎょうしけん さぎょうしけん 【製作等作業試験（作業試験）】

## 1. 共通問題 I

- ☆ 必要器具類に不備があった場合、その項目の採点ができませんので、必ず事前に確認してください（機械や器具の故障や破損を含む）
- ☆ 試験中に機械・器具等の貸し借りをすることは原則として禁止です（事前に指示された必要な数を用意すること）

### 1 - 1. 作業者の衛生管理

試験時間 標準時間 5分 打ち切り時間 7分

- \* 打ち切り時間を超過した場合は試験途中でも終了とする  
タイマーを設置するので確認しながら作業すること

必要器具	数量	備考
作業着	各自	帽子（ヘアネットのみは不可）、マスクは必須
鏡	1	上半身が映るもの（姿見推奨）
粘着ローラー	1	背中全体まで届く大きさのもの
手洗い洗剤	1	液体石けん（泡タイプも可）
爪ブラシ	2	手洗い用、逆性石けん用
逆性石けん用容器	1	水を溜めて両手の手首まで浸かる大きさ（ボウルでも可）
ペーパータオル	1	
ゴミ袋	1	粘着ローラー、ペーパータオルのゴミを捨てる
手袋	各自	ゴム手袋（ニトリル手袋）、予備も用意しておく
消毒用アルコール	1	スプレータイプ推奨
長靴殺菌水用容器	1	容器の中、もしくは上で殺菌（新聞紙を床に敷いて代用可）

① 作業着を着用し、汚れなどをチェックする

※ 食品取り扱いに適した作業着を用意し着用すること

・ 鏡の前に立って作業着を正しく着ているか、汚れがないかを確認する



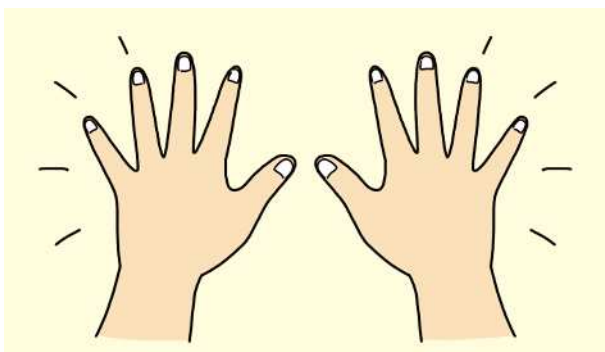
◆ 作業着に乱れや汚れがないこと

(内部の衣類が出ていないこと、作業着は清潔であること)

◆ スカート、サンダル (クロックス含む)、ハイヒール等は着用しないこと

② 手のまわりと帽子のまわりをチェックする

・ 鏡をみながら手と帽子の周りを確認する



◆ 手には指輪や腕時計等は付けないこと

(爪の先端の白い部分は1mm程度、マニキュアをつけないこと)

◆ 髪の毛は帽子からはみ出していないこと

◆ 鼻孔がマスクから出していないこと

③ <sup>ねん</sup>ちやくろーらー <sup>さぎ</sup>ょうぎ <sup>ふ</sup>ちやく <sup>い</sup>ぶつなど <sup>じ</sup>よきよ  
粘着ローラーで作業着に付着した異物等を除去する

- <sup>か</sup>がみ <sup>み</sup> <sup>ねん</sup>ちやくろーらー <sup>ぜん</sup>しん  
鏡を見ながら粘着ローラーを全身にかける  
(<sup>あ</sup>たま から <sup>あ</sup>し まで <sup>う</sup>え から <sup>した</sup> ろーらー を かける)



◆ <sup>わ</sup>き <sup>うち</sup>また <sup>せ</sup>なか <sup>ろ</sup>ーらー  
脇、内股、背中もローラーをかけること

④ <sup>り</sup>ゆうすい <sup>て</sup> <sup>よ</sup>ご <sup>あ</sup>ら <sup>な</sup>が  
流水で手の汚れを洗い流す

- <sup>さ</sup>ぎょうぎ <sup>そ</sup>で <sup>ひ</sup>じ まで <sup>あ</sup>げ、<sup>り</sup>ゆうすい <sup>て</sup> <sup>よ</sup>ご <sup>あ</sup>ら <sup>な</sup>が  
作業着の袖を肘まで上げ、流水で手の汚れを洗い流す



◆ <sup>ひ</sup>じ <sup>ち</sup>か <sup>あ</sup>ら <sup>な</sup>が  
肘の近くまで洗い流すこと

⑤ <sup>てあら</sup> <sup>せんざい</sup> <sup>つか</sup> <sup>て</sup> <sup>あら</sup>、<sup>りゅうすい</sup> <sup>よく</sup> <sup>あら</sup> <sup>なが</sup>  
手洗い洗剤を使って手を洗い、流水でよく洗い流す

- ・ <sup>てあら</sup> <sup>せんざい</sup> <sup>つか</sup> <sup>て</sup> <sup>あら</sup>  
手洗い洗剤を使って手を洗う
- ・ <sup>つめぶらし</sup> <sup>つか</sup> <sup>つめ</sup> <sup>さき</sup> <sup>あら</sup>  
爪ブラシを使って爪の先を洗う
- ・ <sup>りゅうすい</sup> <sup>あわ</sup> <sup>よく</sup> <sup>あら</sup> <sup>なが</sup>  
流水で泡をよく洗い流す



- ◆ <sup>ひじ</sup> <sup>ちか</sup> <sup>まで</sup> <sup>あら</sup>  
肘の近くまで洗うこと
- ◆ <sup>つめぶらし</sup> <sup>つか</sup> <sup>つめ</sup> <sup>さき</sup> <sup>だけ</sup> <sup>つか</sup>  
爪ブラシは爪の先だけに使うこと
- ◆ <sup>あわ</sup> <sup>すべ</sup> <sup>よく</sup> <sup>あら</sup> <sup>なが</sup>  
泡は全て洗い流すこと

⑥ <sup>ぎゃくせいせつ</sup> <sup>えき</sup> <sup>て</sup> <sup>ひた</sup> <sup>つめ</sup> <sup>さき</sup> <sup>つめぶらし</sup> <sup>びょういじょう</sup>  
逆性石けん液に手を浸しながら爪の先に爪ブラシをかけ (30秒以上)、  
<sup>りゅうすい</sup> <sup>よく</sup> <sup>あら</sup>  
流水でよく洗う

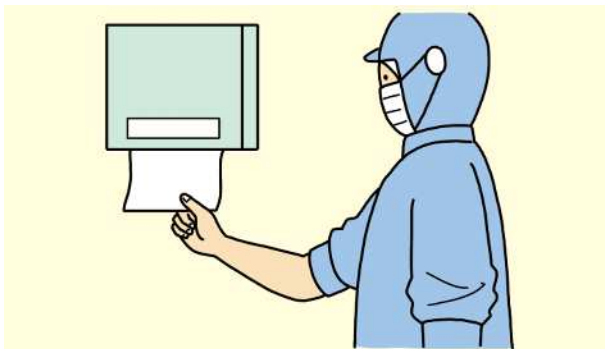
- ・ <sup>ぎゃくせいせつ</sup> <sup>えき</sup> <sup>て</sup> <sup>ひた</sup> <sup>たいまー</sup> <sup>30</sup> <sup>びょう</sup>  
逆性石けん液に手を浸す (タイマーで30秒はかる)
- ・ <sup>つめぶらし</sup> <sup>つか</sup> <sup>つめ</sup> <sup>さき</sup>  
爪ブラシを爪の先にかける
- ・ <sup>びょう</sup> <sup>30</sup> <sup>た</sup> <sup>ら</sup>、<sup>りゅうすい</sup> <sup>ぎゃくせいせつ</sup> <sup>えき</sup> <sup>よく</sup> <sup>あら</sup> <sup>なが</sup>  
30秒たったら、流水で逆性石けん液を洗い流す



- ◆ 30秒以上逆性石けん液に浸すこと（浸す時間が短すぎないこと）
- ◆ 爪ブラシを忘れずに使うこと
- ◆ 逆性石けん液を洗い流し忘れないこと

⑦ ペーパータオルで手を拭く

- ・ ペーパータオルを使って手の水気を拭き取る
- ・ その後袖を下ろす



- ◆ 作業着等で拭かないこと
- ◆ 手洗い後の衛生状態にある手でシンクに残った泡や水滴をペーパータオル等で拭き取らないこと

⑧ 手袋をして表面にアルコールを噴霧し、消毒する

- ・ 手袋をつける
- ・ アルコールスプレーをして、全体にすりこむ





◆<sup>てぶくる</sup>手袋が<sup>やぶ</sup>破れてしまったら<sup>あたら</sup>新しいものと<sup>こうかん</sup>交換すること

⑨<sup>ながぐつ</sup>長靴を<sup>さっきん</sup>殺菌する

・<sup>ながぐつ</sup>長靴用<sup>さっきん</sup>殺菌槽<sup>なか</sup>の中で、<sup>ながぐつ</sup>長靴を<sup>さっきん</sup>殺菌する



◆<sup>ながぐつ</sup>長靴用<sup>さっきん</sup>殺菌槽<sup>なか</sup>の中で<sup>りょうあし</sup>両足を<sup>さっきん</sup>殺菌すること

⑩<sup>さぎょう</sup>作業が<sup>しゅうりょう</sup>終了したら、<sup>しけんかん</sup>試験官に<sup>ほうこく</sup>報告する

・<sup>て</sup>手を<sup>あ</sup>挙げて「<sup>できました</sup>できました」と<sup>ほうこく</sup>報告する



◆<sup>しけんじかん</sup>試験時間をはかっているので<sup>お</sup>終わったら<sup>ほうこく</sup>すぐに報告すること

## 1-2. 原料の解凍

必要器具	数量	備考
冷凍イカ	1	バラ凍結されたマイカ
バケツ	1	持参した冷凍イカが入る大きさのもの

- ① 冷凍されたマイカをバケツ等に入れる
- ② バケツ等に水を入れて流水で解凍する
- ③ 半解凍状態を手で確認したら水を止める
- ④ 試験官に終了の報告をする



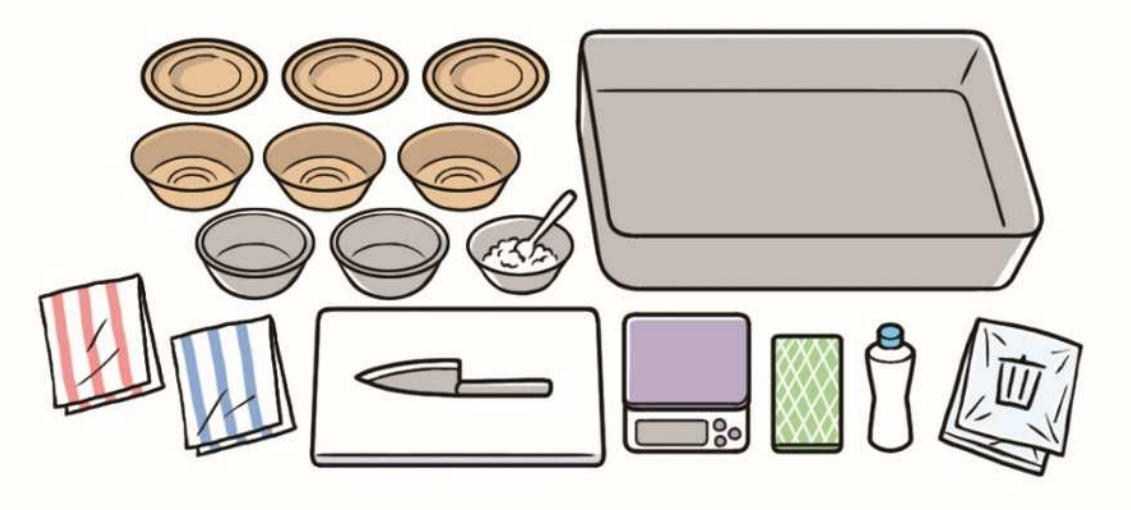
- ◆半解凍の目安は包丁で切れ、ドレス（頭部と内臓除去）にできる、  
芯（凍結部）を感じる硬さであること

## 2. 専門問題【発酵食品製造作業】

### ●いか塩辛（例）

必要器具	数量	備考
はかり	1	0.1g単位ではかれるもの（デジタル）
皿	6	胴肉・足肉、肝臓、非可食部に分ける（3） 塩の計量で使用（3） （紙皿推奨）
ボウル	2	塩の混合・攪拌で使用
スプーン	1	塩の計量、混合・攪拌で使用
包丁	1	使い慣れたもの
まな板	1	
殺菌液用容器	1	包丁・まな板が入るサイズの容器
ゴミ袋	1	生ゴミ用
食器用洗剤	1	
スポンジ	1	
食器用ふきん	1	台ふきんと区別できること（ペーパータオルで代用可）
台ふきん	1	食器用ふきんと区別できること（ペーパータオルで代用可）

必要材料	数量	備考
マイカ	1杯	半解凍試験で半解凍したマイカ *他のイカは肝臓が小さいため、いか塩辛には不向きです
食塩（精製塩）	100g	減塩タイプ、岩塩、粗塩は使用しないこと



しけんまえ ちょうりだい じゅんび  
試験前の調理台の準備

かだい げんりょうしより  
課題 1. 原料処理

してい きぐ つか げんりょう しより  
指定された器具を使い、原料を処理する

① い か か き とお しより にく かんぞう ひかしょくぶ わ さら なら  
イカを下記の通り処理し、肉・肝臓・非可食部に分けて皿に並べる

りょうて い か どう あし ないぞう ひ はな  
・両手でイカの胴と足（内臓つき）を引き離す

あるいは、どうにく ほうちよう い き ひら き ※1、ないぞう て ひ はな  
あるいは、胴肉に包丁を入れて切り開き※1、内臓を手で引き離す

◆ どうにく かわつ しより かわ む  
◆ 胴肉は皮付きのまま処理すること（皮は剥かなくてもよい）

どうにく ひれ みみ えんぺら き はな ひれ いご しよりたいしょうがい  
・ 胴肉からヒレ（耳：エンペラ）を切り離す（ヒレは以後の処理対象外とする）

ないぞう あし ほうちよう き はな がんきゅう なんこうなど と わ  
・ 内臓と足を包丁で切り離したのち、眼球・くちばし・軟甲等を取り分ける

あし きゅうばん いた うえ ほうちよう せし かくしつかん と のぞ  
・ 足の吸盤をまな板の上で包丁の背でしごいて角質環を取り除く

ないぞう かんぞう と だし すみぶくろ やぶ ちゅうい と わ  
・ 内臓から肝臓を取り出し、墨袋を破らないように注意して取り分ける

かんぞう かわ さら なら  
・ 肝臓は皮がついたまま皿に並べる

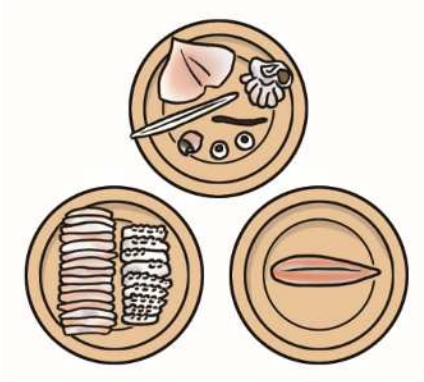
どうにく なか ほうちよう は い き ひら ※1  
・ 胴肉の中に包丁の刃を入れ切り開く※1

どうにく あし みず たら  
・ 胴肉、足を水で洗う

どうにく はば なが ていど ほそぎ  
・ 胴肉を幅3～5 mm、長さ3～4 cm程度に細切りする

あし いっぽんいっぽんほうちよう き はな のち なが ていど ほそぎ  
・ 足を一本一本包丁で切り離した後、長さ2～4 cm程度に細切りする

ちゅう こうてい さいしよ ちゅうかんこうてい おこな か  
注）※1 の工程は最初または中間工程どちらで行っても可とする



② 試験官に終了の報告をする



課題2. 調味食塩の計量

指定された器具を使い、調味食塩を計量する

食塩の濃度は指示される

① ボウルの中に細切りにした肉を入れ、重量をはかり、試験官に報告する（1g単位で計量すること）



- ② 「肉の重量の●%の食塩をはかりなさい」と指示があるので指定された食塩の重量を計算し報告する（0.1 g単位で計算すること）

\*計算で電卓を使用可

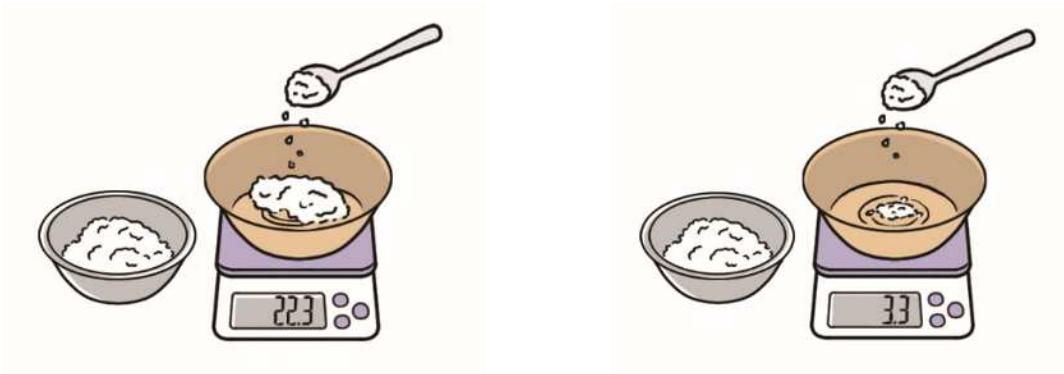
- ③ もう一つのボウルの中に皮をはがした肝臓の中身を入れ、重量をはかり、試験官に報告する（1 g単位で計量すること）



- ④ 「肝臓の重量の●%の食塩をはかりなさい」と指示があるので指定された食塩の重量を計算し報告する（0.1 g単位で計算すること）

\*計算で電卓を使用可

- ⑤ 肉用の塩、肝臓用の塩をそれぞれ計量する



⑥ 試験官に終了の報告をする



課題3. 混合・攪拌処理

指定された器具を使い、課題2で計量した調味食塩と原料を混合・攪拌する

① 肉用に計量した食塩と肉を混合する



② 肝臓用に計量した食塩と肝臓を混合する

肝臓はスプーンを使ってつぶしながら混合する

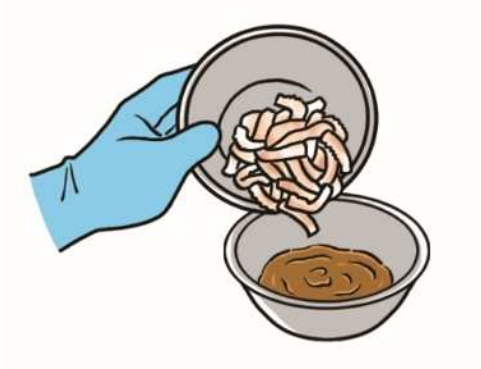




③ 試験官に終了の報告をする



④ ①を②に入れスプーンを使って攪拌する



⑤ 試験官に終了の報告をする



### 3. 共通問題Ⅱ

#### 1 - 3. 器具の衛生管理

試験時間 標準時間6分 打ち切り時間8分

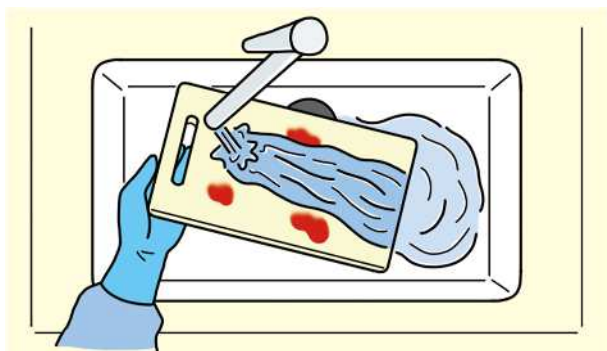
\* 打ち切り時間を超過した場合は試験途中でも終了とする

タイマーを設置するので確認しながら作業すること

必要器具	数量	備考
包丁	1	専門作業で使用しない場合は菜箸またはへらで代用
まな板	1	専門作業で使用しない場合は鍋で代用
食器用洗剤	1	
スポンジ	1	
殺菌液用容器	1	包丁・まな板もしくは鍋・菜箸・へらが入る深さの容器
食器用ふきん	1	台ふきんと区別できること (ペーパータオルで代用可)
台ふきん	1	食器用ふきんと区別できること (ペーパータオルで代用可)

① まな板をスポンジで水洗いする

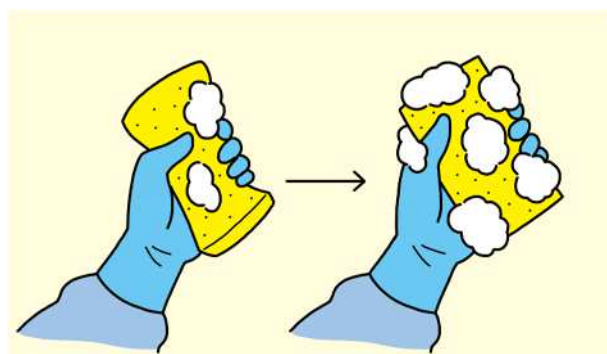
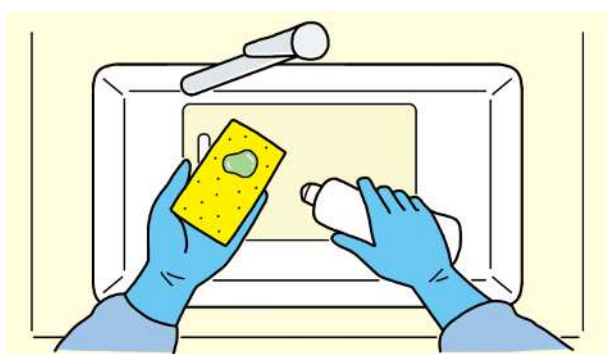
- 水でまな板の汚れを流す
- スポンジに水を含ませる
- まな板に水を流しながら、スポンジを使って洗う



◆ 手で直接こすらないこと

② スポンジに少量の洗剤液を付けて泡立て、まな板を洗う

- スポンジに水を含ませて、少量の洗剤液を付ける
- スポンジをよく泡立て、まな板を洗う





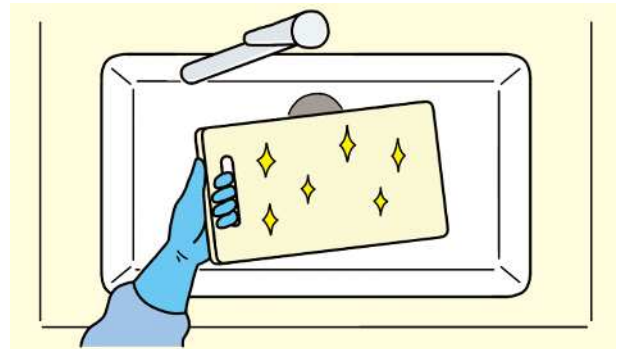
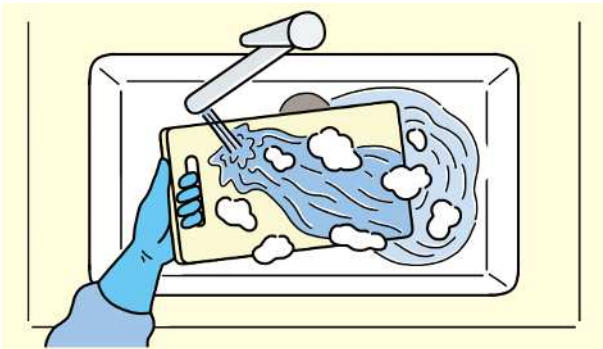
◆<sup>せんざいえき</sup>洗剤液は<sup>すぼんじ</sup>スポンジに<sup>つ</sup>付けること

◆<sup>すぼんじ</sup>スポンジでよく<sup>あわだ</sup>泡立ててから<sup>あら</sup>こすり洗いすること

③<sup>りゅうすい</sup>流水で<sup>せんざい</sup>洗剤の<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流す

・<sup>いた</sup>まな板の<sup>あわ</sup>泡を<sup>のこ</sup>残さず<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流す

・<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流したら<sup>さっきんえき</sup>殺菌液の<sup>なか</sup>中<sup>い</sup>に入れる



◆<sup>て</sup>手で<sup>あわ</sup>こすって<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流さないこと

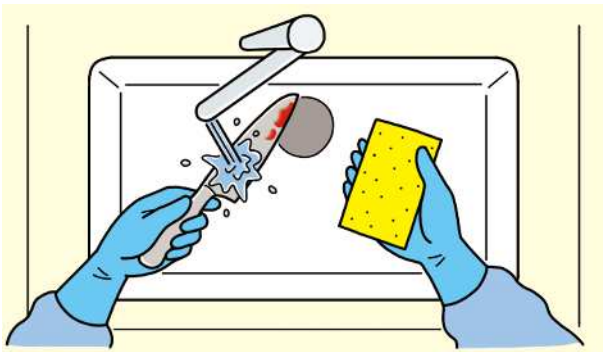
◆<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流した<sup>あと</sup>後に<sup>なが</sup>流し<sup>しんく</sup>(シンク)の<sup>なか</sup>中<sup>ちょうりだい</sup>や<sup>うえ</sup>調理台の上<sup>よご</sup>の<sup>お</sup>汚れた<sup>ところ</sup>ところに<sup>お</sup>置かないこと

④<sup>ほうちよう</sup>包丁を<sup>すぼんじ</sup>スポンジで<sup>みずあら</sup>水洗いする

・<sup>みず</sup>水で<sup>ほうちよう</sup>包丁の<sup>よご</sup>汚れを<sup>なが</sup>流す

・<sup>すぼんじ</sup>スポンジに<sup>みず</sup>水を<sup>ふく</sup>含ませる

・<sup>ほうちよう</sup>包丁に<sup>みず</sup>水を<sup>なが</sup>流しながら、<sup>すぼんじ</sup>スポンジを<sup>つか</sup>使って<sup>あら</sup>洗う



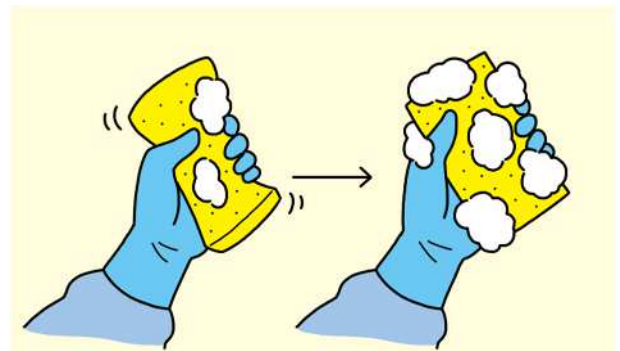
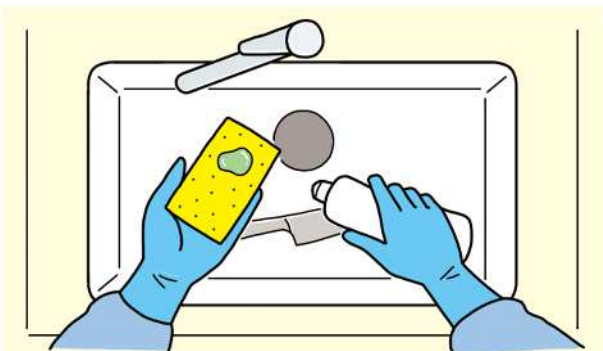
◆ <sup>て</sup> <sup>ちよくせつ</sup> 手で直接こすらないこと

◆ <sup>ほうちよう</sup> <sup>は</sup> <sup>あんぜん</sup> <sup>あつか</sup> 包丁の刃は安全に扱うこと

⑤ <sup>すぼんじ</sup> <sup>しょうりよう</sup> <sup>せんざいえき</sup> <sup>つ</sup> <sup>あわだ</sup> <sup>ほうちよう</sup> <sup>は</sup> <sup>え</sup> <sup>あら</sup> スポンジに少量の洗剤液を付けて泡立て、包丁の刃と柄を洗う

・ <sup>すぼんじ</sup> <sup>みず</sup> <sup>ふく</sup> <sup>しょうりよう</sup> <sup>せんざいえき</sup> <sup>つ</sup> スポンジに水を含ませて、少量の洗剤液を付ける

・ <sup>すぼんじ</sup> <sup>あわだ</sup> <sup>ほうちよう</sup> <sup>あら</sup> スポンジをよく泡立て包丁を洗う

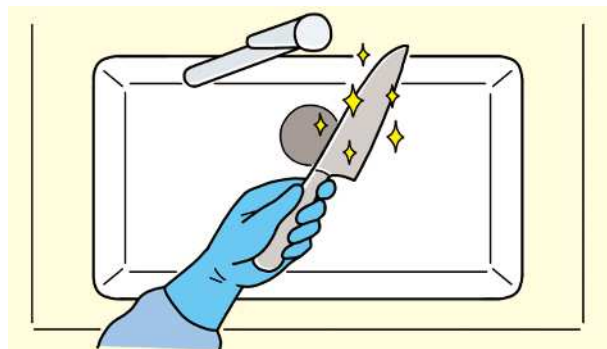
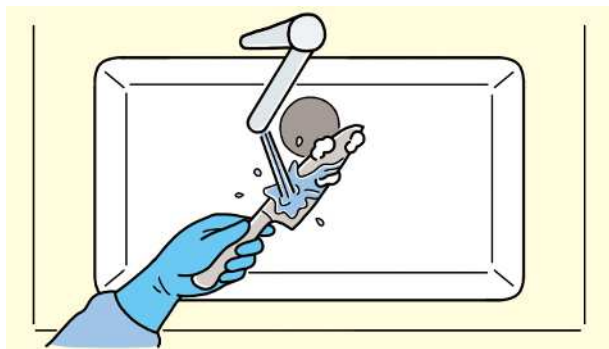


◆ <sup>せんざいえき</sup> <sup>ほうちよう</sup> <sup>ちよくせつ</sup> 洗剤液は包丁に直接かけないこと

◆ <sup>ほうちよう</sup> <sup>は</sup> <sup>あんぜん</sup> <sup>あつか</sup> 包丁の刃は安全に扱うこと

⑥ <sup>りゅうすい</sup>流水で<sup>せんざい</sup>洗剤の<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流す

- ・ <sup>ほうちよう</sup>包丁の<sup>あわ</sup>泡を<sup>のこ</sup>残さず<sup>りゅうすい</sup>流水で<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流す
- ・ <sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流したら<sup>さっきんえき</sup>殺菌液の中に<sup>なか</sup>入れる

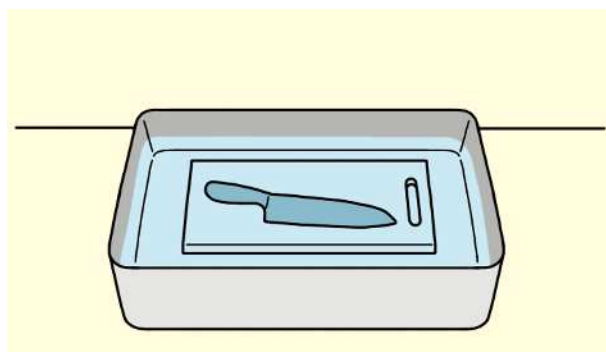


◆ <sup>て</sup>手で<sup>こ</sup>こすって<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流さないこと

◆ <sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流した<sup>あと</sup>後に<sup>なが</sup>流し（<sup>しんく</sup>シンク）の<sup>なか</sup>中や<sup>ちょうりだい</sup>調理台の<sup>うえ</sup>上の<sup>よご</sup>汚れた<sup>ところ</sup>ところに<sup>お</sup>置かないこと

⑦ <sup>あら</sup>洗った<sup>きぐ</sup>器具を<sup>さっきんえき</sup>殺菌液に<sup>いっていじかん</sup>一定時間（<sup>やく</sup>約<sup>ぶん</sup>1分<sup>※</sup>）<sup>つ</sup>浸ける \*<sup>べんぎじょう</sup>便宜上<sup>ぶん</sup>1分<sup>しけん</sup>で<sup>じっし</sup>試験を実施します

- ・ <sup>あら</sup>洗い<sup>お</sup>終わった<sup>きぐ</sup>器具（<sup>いた</sup>まな板・<sup>ほうちよう</sup>包丁）を<sup>さっきんえきそう</sup>殺菌液槽に<sup>つ</sup>浸ける
- ・ <sup>たいまー</sup>タイマーを<sup>か</sup>かけて<sup>ぶんかん</sup>1分間<sup>さっきん</sup>殺菌する



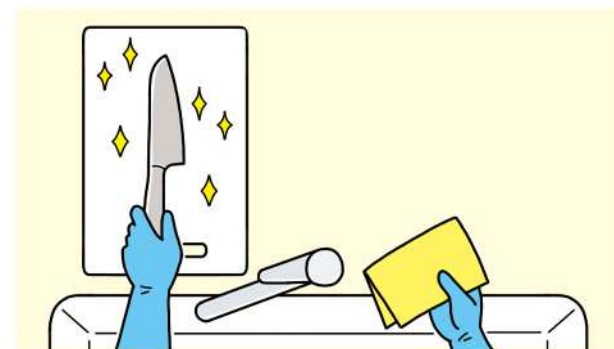
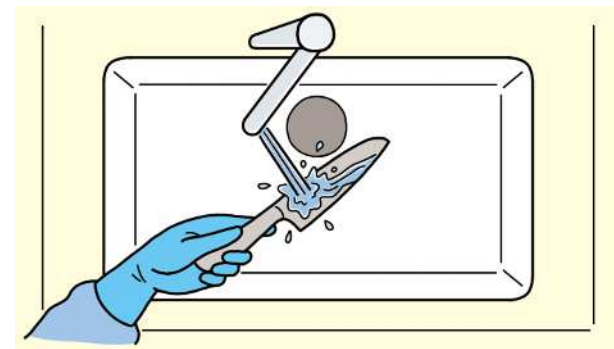
◆ <sup>ほうちよう</sup>包丁と<sup>いた</sup>まな板は<sup>さっきんえき</sup>殺菌液からは<sup>だ</sup>み出さないこと

◆ <sup>つ</sup>浸ける<sup>じかん</sup>時間は<sup>いっていじかん</sup>一定時間より<sup>みじか</sup>短くならないこと

◆ <sup>つ</sup>浸けている<sup>じかん</sup>時間を利用し<sup>りよう</sup>洗浄後の<sup>せんじょうご</sup>器具を<sup>きぐ</sup>置く<sup>お</sup>場所を<sup>せいけつ</sup>清潔にして<sup>お</sup>おくこと  
（\*<sup>えいせい</sup>衛生的な<sup>ばしょ</sup>場所）

⑧ <sup>りゅうすい</sup>流水で<sup>さっきんえき</sup>殺菌液を<sup>あら</sup>洗い、<sup>みずけ</sup>水気を<sup>ふ</sup>拭き取る

- ・ <sup>さっきんえき</sup>殺菌液から<sup>と</sup>取り出した<sup>だ</sup>器具を<sup>きぐ</sup>流水で<sup>りゅうすい</sup>洗う
- ・ <sup>ふきん</sup>布巾や<sup>ペーパータオル</sup>ペーパータオルで<sup>みずけ</sup>水気を<sup>ふ</sup>拭き取る
- ・ <sup>ふ</sup>拭き終わった<sup>お</sup>器具は<sup>きぐ</sup>\*衛生的な場所に<sup>えいせいでき</sup>置く



◆ <sup>さっきんえき</sup>殺菌液を<sup>なが</sup>流し<sup>わす</sup>忘れないこと

◆ <sup>みずけ</sup>水気を<sup>のこ</sup>残さないこと

◆ <sup>しんく</sup>シンク内の<sup>あわ</sup>泡の<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流しや<sup>しんくまわ</sup>シンク周り<sup>すいできぶ</sup>水滴<sup>と</sup>拭き取りは<sup>しけんじかん</sup>試験時間に<sup>せいげん</sup>制限があるため、

ここでは<sup>おこな</sup>行わず、<sup>さぎょうしけんしゅうりょうご</sup>作業試験終了後（<sup>しけんじかんがい</sup>試験時間外）<sup>おこな</sup>に行うこと

⑨ <sup>さぎょう しゅうりょう</sup>作業が終了したら、<sup>しけんかん ほうこく</sup>試験官に報告する

- <sup>て あ</sup>手を挙げて「できました」と<sup>ほうこく</sup>報告する



◆ <sup>しけんじかん</sup>試験時間をはかっているので<sup>お</sup>終わったら<sup>ほうこく</sup>すぐに報告すること